

## 団体名：特定非営利活動法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ

活動地域：横浜市

助成額：99,928 円、助成回数：2 回

ホームページ：<https://www.freespace-tanpopo.com/>

### 【当初の目的に対しての結果】

今年度は、たんぽぽに通う子どもたちやその家族、スタッフがコロナに感染し、入院したり、濃厚接触者となって自宅待機になったりと、コロナ感染が直接たんぽぽの活動にかかわることが何度かありました。時間を短縮もしながら運営を続けてきましたが、2月～3月には3週間ほどたんぽぽを休所することもありました。12月までは、感染の状況を見ながら、昼食作りにも対応できましたが、1月～3月までは昼食の提供もストップしてしまいました。その中でも、相談や親たちの会、参加した子どもや若者とお茶の時間を設けて交流を継続してきました。また、3月には、たんぽぽのサポート会員を中心に「フードパントリーつくの」がスタートしました。地域の食品を必要とする方たち20名の方の登録がありました。たんぽぽも協力団体として一緒に取り組んでいきます。

### 【主催者の感想】

今までは、コロナ禍で消毒や換気など気を付けて対応しては来ましたが、まだ、直接感染した人が周りに多くなく、運営を進めてこれましたが、今年度は、身近な会員の家族やスタッフの感染があり、運営を継続すること事態がとても大変でした。昼食の時間は、美味しいものを一緒に食べる楽しい時間です。リクエストのメニューもあり、子どももとても楽しみにしています。以前のようにおしゃべりをたくさんできる状況ではありませんが、子どもや若者の交流の時間になっています。昼食の提供が難しい時期でも、みんなでおやつを食べたり、お茶を飲んだりしながらゆっくり話をする時間を大切にしてきました。短い時間にはなりませんが、企画に参加しての感想や近況などを話し合い、交流しました。まだ、慣れない子どももいましたが、お茶やお菓子があることでとても気持ちがあがります。お互いのことを知る時間にもなりました。3月にスタートしたパントリーは、20名募集でしたが、希望が多かったので、次回4月の時には募集を30名まで増やして対応していく予定です。地域でのフードドライブも少しずつスタートしています。

### 【支援を受けられた方の声】

いつもは、財政的に購入できないようなメニュー（マグロ丼・エビ天丼など）が人気でした。子どもたちのおやつは、何種類か用意して、好きなものを選ぶのが楽しそうでした。まだ、参加して間もない子どもには「どのおやつにする？なにが好き？」から会話もはずみます。冬でもアイスが好きな子どもがいたり、レンジで温めるホットビスケットは若者から「懐かしい」という声もあって、そこからまた、いろいろな話が始まります。美味しいものを一緒に食べている時にはみんな笑顔になるところが一番の参加者の声です。また、パントリーのボランティアに参加した高校生からは、「参加してくる人が見た感じが自分たちと同じで、思っていたのは違った」と感想がありました。コロナ禍もあり、格差が見えにくくなっていて、広がっていることをボランティアとして参加した人たちも改めて感じたと思います。パントリーでは、いろいろな問題を抱えている方も多く、レトルト食品や缶詰など、あまり調理をしなくてもすぐ食べられるものが喜ばれました。

#### 【その他、意見・要望など】

今回、ちょうど担当者がコロナ感染で入院になったりして連絡事項が他のスタッフに伝わってなくて、運搬してくれた時にしばらくお待たせしてしまうことになり、大変申し訳ありませんでした。食材の他にも、消耗品などをお願いし、財政的にもとても助かりました。災害用にも対応できる食材も購入させていただきました。コロナ禍も2年、新年度はどんな風に過ごしていけるか不安もあります。できることをやっていくしかありません。あたたかい支援のおかげで1年間継続できました。ありがとうございました。

## たんぽぽお昼づくり 月曜日・火曜日・金曜日の週3回 いただいた食材で作った11月・12月のお昼メニューから



サーモンのバジルオイル焼き



ハンバーグ



ミートソーススパゲティ

グラタン



うな井



ポトフ

